



撮影/本誌記者 吳曉樂

との予測もあります。医療観光も訪日目的の一つになっています。貴院は中国人観光客にも対応していますか。レーザー手術を受けるとしたら、東京での滞在期間はどのくらい必要ですか。

**都筑** 日本では、一般的に鼻と喉のレーザー手術をした場合、術後2週間ほどの入院が必要です。ところが、当院の最新機器と経験によって、日帰り手術が可能になり入院の必要はなくなりました。(レーザー手術を行う場合、10日程度の滞在が必要となります。)

術後は痛みが2週間ほどありますが、日常生活や仕事には影響ありません。東京近郊からおみえになる患者様には、術後1週間後と2週間後の合わせて2回、再診に来ていただいています。地方や国外からの患者様は、再診に来られなくても差し支えありません。

私はこれまでに、中国・上海から来

られた3名の患者様を治療したことがあります。旅行社の通訳を伴って来られたので、コミュニケーションをとるのにも説明するのにも問題はありませんでした。

中国の方は朗らかで、大変好感を抱いています。さらに多くの中国人観光客の皆さまにレーザー治療ができればと考えています。手術時間は短く、安全性が高く、術後もショッピングや観光ができ、旅程にも影響しません。その上、長年の苦痛を解決できるのです。

当院を開設してから3年間で、いびきのレーザー治療は1万2000件以上、アレルギー性鼻炎、花粉症のレーザー治療は6000件以上行いました。さらに多くの人が、この速くて安全で効果てきめんの治療法を知ることによって、いびき、アレルギー性鼻炎、花粉症、SASから解放されて、快適な生活、睡眠、気分を味わっていただきたいと願っ

ています。

## 取材後記

取材を終えて、恒例の揮毫をお願いした。院長はしばらく考えてから「天命を知る」と記され、「多くの人が、この速くて効果てきめんのレーザー治療を知りません。私は毎月無料でセミナーを開催し、レーザー治療を紹介しています。そして一人でも多くの方に問題解決への選択肢を提供したいのです」と語った。これこそ、都筑院長の天命であり、使命であろう。

